

初級：林業

【森林経営】

日本の林業労働力の動向に関する記述 A～C の空欄に当てはまるものをいずれも正しく挙げているものはどれか。

- A. 国勢調査によると、林業従事者の数は、長期的に減少傾向で推移した後、平成 22 年には となっており、近年は減少のペースが緩み、下げ止まりの兆しがうかがえる。
- B. 林業従事者の高齢化率（65 歳以上の就業者の割合）は で、全産業平均の 10% に比べて高い水準にある。
- C. 林業事業体に採用された新規就業者数は、「」事業の開始前は、年間約 2 千人程度であったが、事業の開始後は平均で年間約 3 千 3 百人程度に増加している。

	A	B	C
1.	5 万 1 千人	21%	緑の雇用
2.	5 万 1 千人	21%	フォレスター制度
3.	5 万 1 千人	41%	緑の雇用
4.	15 万 1 千人	41%	緑の雇用
5.	15 万 1 千人	21%	フォレスター制度

【正答番号 1】

【森林科学】

林道に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 自動車走行の安全から必要とされる最小の見通し距離を，安全視距と言う。
2. 自動車が曲線部を走行する場合，後輪が前輪より外側を走行するので，通常，曲線部では外側を拡幅しておく。
3. 林道における全幅員とは，車道幅員に路肩と側溝の幅を加えたものである。
4. 輸送能力や走行の安全性が著しく低下する限度の縦断勾配のことを片勾配と言う。
5. 背向曲線は，相反する方向の曲線を連続したものであり，複合曲線とも呼ばれる。

【正答番号 1】